

## 課題になっている行動 (気になる行動)

### 関係の無い情報を 無視することが難しい

**む**  
無視できない  
街の中にある  
ラインや文字や絵  
自分に関係の  
あることも  
ないことも



監修・文 水野敦之 絵：宗貞由貴子

環境・状況の要因	本人の特性	本人の経験や気づきの影響
<p>■ 様々な状況の変化 地域の中にある様々な指示は常に変動する</p> <p>■ 影響を与える刺激や情報 地域にはラインや文字など見える情報がある。 本人の興味のある見えているものや情報がある</p> <p>■ 必要な支援がない 刺激の統制の支援がない 無視するポイントや刺激の統制の工夫などの提案がない。 活動の見通し、視覚的な情報を見る習慣がない。</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p> <p>■ 行動前の状況※ 刺激・情報がある 刺激の統制、本人にあった明確な指示がない</p>	<p>■ 全体よりも細部に注目する特性：<u>見えているものに強く注目する特性。転導性。衝動性</u></p> <p>■ 時間の整理統合の困難さ：<u>注目していい時間、しなくていい時間の見通しが持ちにくい</u></p> <p>■ 空間の整理統合の困難さ：<u>関係のある部分、関係のない部分のイメージが持ちにくい</u></p> <p>■ 感覚の特異性 <u>視覚的な情報が強く入ってくる。</u></p>	<p>■ 習慣になっているものがある 視覚的な情報を観ることが習慣化されている。 <u>必要な情報、指示をまず見る習慣がない</u></p> <p>■ 自分流の気づき・考え方をもち 注目すると引っ張られてしまう</p> <p><input type="checkbox"/> 過去に経験したこと学んだこと</p> <p><input type="checkbox"/> 過去に経験したことにより恐怖や嫌悪感をもっていること</p> <p>■ 行動後の状況・結果※ 無視するように指示される 注意される 本来の活動がうまくいかない</p>

活用できる他の資源	活用できる本人のスキル	活用できる本人の気づき
<p>事業所（学校）で見通しを視覚的な指示で活動する機会がある</p>	<p>文字、絵や写真、具体物の理解がある 見えなくなったら終わりの理解</p>	<p>見えるものはわかりやすい</p>

支援計画 ※支援の具体的な計画は自立課題シートで整理する方法もあります		
<p>環境を変える部分は？</p> <p>・無視できない刺激や情報を統制する。 ・無視できるような本人の位置、向きを考える。</p>	<p>本人の特性にあわせた支援は？</p> <p>・本人にあった視覚的な情報のスケジュールで見通しを伝える ・本人が気にしそうな情報の方向に支援者の位置を調整する</p>	<p>本人に伝える・教える部分は？</p> <p>・本人が目的以外の部分に注目したときにスケジュールで確認して促す。 ・まずは事業所（学校）で視覚的な見通しで確認し行動する習慣をつくる。</p>

#### 解説と支援の方向性について

地域の中にはたくさんの視覚的な情報があります。その中には、自分にとって関係のあることもあれば、関係の無いこともあります。自閉症の人は、様々な刺激、情報に影響をうけます。必要な情報に注目し、そして必要でない情報を無視してた行動が難しいのです。また、自閉症の人は視覚的なものに引っ張られることもあります。